

# 農地・水・環境保全だより 第8号

編集・発行 三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

## 農地・水・環境保全向上対策「みえのつどい“2010”」を開催しました ～世代を超えて地域の“きずな”を育もう～

去る1月15日（土）に津市の三重県総合文化センターにおいて、県内の農地・水・環境保全向上対策に取り組んでいる活動組織315組織を対象として「～世代を超えて地域の“きずな”を育もう～」をテーマに農地・水・環境の良好な保全とその質的向上を図る活動をより一層活発に取り組んでいくことを目的に、活動組織相互の情報交換や意見交換を行う「みえのつどい“2010”」を開催した。

本年度で3回目を迎える「みえのつどい」は、多くの組織の方が感じている充実度・満足度をより向上させ、また、子供を含めたいろいろな世代にもその活動内容を知ってもらうため、参加型のイベントにしたいという思いから2部構成とした。



【意見交換が行われた座談交流会】

午前中の第1部では、多目的ホールにて事前申込みされた活動組織の組合員約180名を対象に18のテーブルに分かれ、自由にお茶やお菓子等を飲食しながらつつろいだ雰囲気の中、農地水に係る4つのテーマ（「次世代リーダー育成」、「施設の維持管理」、「生態系保全」、「景観形成」）について活動組織が抱える課題等に活発な意見交換が行われた。



【渡邊協議会会長 開会挨拶】

午後からは会場を中ホールに移し、約600名が参加した第2部が開催された。

まず、三重県農地・水・環境保全向上対策協議会の渡邊信一郎会長（三重県農水商工部長）の主催者挨拶があり、そして来賓としてご臨席された野呂昭彦三重県知事、末松則子三重県議会議員防災農水商工常任委員会委員長から挨拶をいただいた。



【優秀活動組織の記念撮影】

引き続き、優秀活動表彰に移り、司会者が受賞された4つの優秀活動組織の活動内容を映像を流しながら紹介した後、渡邊会長より各活動組織の代表者に表彰状が授与され、その後渡邊会長、野呂知事、末松委員長を囲んで、壇上で記念撮影を行った。



【野呂三重県知事挨拶】

### 表彰活動組織

賞の名称	表彰活動組織
三重県農地・水・環境保全向上対策協議会 会長賞 「共同活動部門」	原農水環境を守る会（度会郡玉城町）
三重県農地・水・環境保全向上対策協議会 会長賞 「営農活動部門」	緑ゆたかな北小松を守る会（四日市市）
優秀環境向上活動賞 「モデル部門」	依那具の環境を守る会（伊賀市）
優秀地域ぐるみ活動賞 「パブリシティー部門」	どじょっ子くらぶ（いなべ市）

休憩を挟んで、舞台と客席を一体として農地水を話し合ってもらう「みんなでトーク“農地水”」にプログラムを移した。



【みんなでトーク“農地水”】

コーディネーターの東京農工大学福井隆客員教授が午前中の「座談交流会」で出された活発な意見に対し、4つのテーマごとに意見を述べた後、壇上の13名のパネラーが午前中の議論を踏まえ、活動の特徴・苦労話などを紹介した。全員の紹介の後、福井コーディネーターはテーマを「いろいろな人の参加」に絞り、客席に意見を問いかけ、舞台と客席の間で活発な意見交換がなされた。最後に会場から出された意見の中から1つを選び“きらりトーク賞”として桑名市嘉例川地区から「かれがわ酒」、菰野町田

光地区から「田光米」を贈呈した。

再び休憩を挟み、農村環境の大切さを伝えようと活動している「メダカのコタロー劇団」とのコラボレーションにより、農地水活動の次世代へのつなぎや活動組織以外の子供を含めたいろいろな世代にも広く活動PRを行うため「農村環境アニメ紙芝居」を



【アニメ紙芝居】

上演し、参加した子供のみならず大人の方々にもこの活動の大切さを伝えることができた。



【水土里ネットみえ服部会長閉会挨拶】

上演後、協議会事務局である水土里ネットみえの服部会長の挨拶で閉会となった。



【エントランスの情報コーナー】

また、中ホールのエントランスでは、終日「つどい」に参加した活動組織からの出展された日頃の活動写真パネル、のぼり、パンフレットなどの展示や水路の



【交流会での県岩崎総括室長挨拶】

目地補修材、カバープランツ、共同活動支援ソフトなどの関連商品を紹介する情報コーナーが設けられ、「つどい」の開始前や休憩時には、多くの参加者で賑わっていた。

「つどい」終了後は、会場を市内のベルセ島崎に場所を移し、活動組織相互の交流を深めるため「交流会」も行われ、参加者たちはそれぞれの活動組織が抱える問題点やその解決方法について意見交換をし、親交を深めていた。

農地・水・環境保全向上対策の活動も4年目となり、本年度の「つどい」はこれまでの活動組織の情報交換、つながりを深める場の提供からそれぞれの活動組織が抱えている課題を話し合う場の提供と併せて将来の三重の農村環境を担う子供たちを対象として大人と一緒に参加する「アニメ紙芝居」などの新たな試みを行った。

今回、実施したアンケートより回答者の69%が「つどい」に他の活動組織との交流を評価しており、92%が座談交流会の情報共有が役に立ち、さらに93%が他の活動組織の情報が今後の活動に参考にしたいと高い評価を得て、地域での農地水環境活動に期待する声が多く聞かれた。

また、①代表者の意見よりもっと一般参加者の意見交換が活発化するようにしてほしい、②みんなでトークのパネラーの人数が多すぎる、③女性の参加が少ない等の意見もあり、主催者としては、これらの意見を活かしつつ最終年度の活動を締めくくっていききたい。

## メダカのコタロー劇団からのお知らせ

私たちメダカのコタロー劇団は「みんなの環境、みんなで守ろう、みんなのために！」を合言葉に未来の声優たちで結成しました。山、森、里山、ため池、田んぼ、そして里海までのすべてが繋がっていること。そして水の循環を通じて、自然環境の大切さを子供たちに伝える活動をしています。



【メダカのコタロー劇団】

これまで三重県では、農地・水・環境保全向上対策活動組織の「かれがわふる里活動隊」のイベント「いきもの調査隊」、「多



【子ども広場】

気町勢和地域資源保全・活用協議会」のイベント「メダカまつり」「活動事例発表会」に参加し、また、1月15日津市で行われた「みえのつどい2010」では、三重県を題材にしたストーリーで、小さな子供たち、お父さん、お母さんともスキップを計りながら、公演を行いました。三重県の方々が農村環境を守る為、各方面に真剣に、積極的に活動されている姿に大変共感を覚えました。

今回の「みえのつどい2010」を契機に、さらに三重県の子供たちに農村環境の大切さや水の循環などを、わかりやすく、共に考え伝えていきたいと考えています。もし、当劇団に少しでも興味をお持ちの方がいらっしゃれば、イベント等でお手伝いできることもありますので、ご連絡頂ければ、うれしい限りです。

（連絡先：三重県農水商工部農業基盤室 農地水担当 野村 電話 059-224-2556）

## 活動組織情報

### ・おばた資源・環境保全協議会（伊勢市）

伊勢市小俣町湯田と相合にまたがる花畑は、小俣の町民が花を楽しむ人気スポットとして、市町村合併以前より愛された場所でしたが、合併に伴い消えようとするのを「おばた資源・環境保全協議会」による農村環境の景観形成活動として花畑の整備に努め、毎年、ヒマワリ、菜の花畑として地域美化運動の一環として取組んできました。平成22年度は、周辺の産地直売市場や地元企業の参加を加え、「うまし国、コスモス街道」として、約1万8千平方メートルに20万株の花を咲かせました。



【コスモス畑】

秋の訪れを待たずに9月上旬には、満開となり、どこよりも早いコスモス畑として、新聞、テレビに放映され、残暑厳しいおりでも、ピンクや白、紅紫色の花の顔を見せ、県内外からたくさんの方が花を楽しみに見えました。

当協議会としましては、農村の豊かな資産としての花畑の存続のために、この活動をますます発展させていきたいと思っております。

## ・山下環境保全会（亀山市）

山下環境保全会は、東名阪国道の東側、亀山市の鈴鹿川右岸に位置し、平成19年度から山下町内の各種団体（自治会、営農組合、農地管理組合、老人会、子供会、JA等）が協議し、農地・水・環境保全向上対策事業に取り組み始めました。

管理する施設は、基盤整備後の水田43.6ha農用地、開水路8.5km、パイプライン5.1km、農道5.5km、ため池1カ所の維持管理や補修作業を行っています。

主な活動内容は、田植え前の開水路の溝さらえ、草刈り、ポンプ施設の点検、排水操作、収穫前の農道の道普請などを行っており、また休耕田を有効活用した梅の植栽等を行っています。



【山下町植樹祭】

景観に配慮した取り組みとしては、ボランティアによる花壇の花の植栽の活動、ため池周辺の公園整備、桜や梅を植栽し梅林公園等の草刈、清掃を行っています。また、山下町地域ぐるみの交流の場である毎年自治会主催「山下デー」の一環として、桜の植樹祭、挿木から育てたアジサイの植樹祭を行い、料理教室を開いて地元でとれた三重の夢やコシヒカリと大根や里芋の料理を振舞うなど農協婦人部、老人会、子供会等の団体が参加し地域の結びつきを深めています。



【小麦の収穫】

小学校と連携し、小麦の種蒔きから収穫までの体験学習を行い子供達への農業への理解を深めています。また毎年福祉施設「つくしの家」の通所者、保護者等が参加し田植え作業、収穫作業の体験を通じ地域交流を行っています。

## 事務局からのお知らせ

### ・共同活動支援交付金に係る実施状況報告書（参考様式第18号）、実施状況調書（参考様式第22号）の記入に関する注意事項

1. 実施状況報告書添付様式別添1 地域活動指針チェック表の「対象となる活動」「現況」「計画」の「○」は、市町との協定書類に記入された内容と同じ項目に「○」が記入されているか確認すること。
2. 実施状況調書の支出の部「5. 次年度繰越」の備考欄に繰越額の使用予定期及び内容を記入すること。

上記書類の協議会への提出期限は**4月30日**までとなっていますので早めの提出をお願いします。

### ・投稿募集のご案内

活動組織のみなさまの活動状況など、どんどん投稿してください。

投稿先  
〒514-0006  
津市広明町330番地（三重県土地改良事業団体連合会内）  
三重県農地・水・環境保全向上対策協議会  
TEL 059-226-4824 FAX 059-225-7332